



「新たな取り組みと開発的な取り組みを行った1年間」

校長 大畠 仁

3月24日に148名の6年生が6年間の小学校課程を修了し卒業します。ご卒業、誠におめでとうございます。

さて、本年度を振り返りたいと思います。本年度の重点課題は、①性的マイノリティーに係る人権教育の推進、②情報モラル教育の推進、③登下校の安全確保、④自己肯定感を高める通知表の改定、でした。①については、年間指導計画と1時間ごとの指導計画を作成し、来年度から、全学年で授業を行います。②については、民間のソーシャルメディア会社の力を借り、各学年で授業を実践し、一部は授業参観で保護者の方々にご覧いただきました。来年度は、全学年で指導計画をもとに授業を行います。③については、保護者の皆様から頂いた情報をもとに全ての問題点のある箇所を見て回り、対応策をまとめ市役所に提出しました。少しずつ改善されると思います。④については、本年度から3段階評価をやめ目標に到達しているかどうかについて評価し、児童が自分の頑張ったことに目を向け、自己評価を記入する欄を設けました。保護者アンケートで「できることとできないことがわかりづらい」等、多くのご意見をいただきましたので、来年度も引き続きよりよい通知表の在り方を検討していきます。

「水谷小で大切にしたい3つの行い」は、①「時を守る」時間・時刻を守る→人を大切にすることについては、児童の様子を見ていると休み時間から学習に取り組むまでの切り替えが早くよくできていると思います。②「場を清める」清掃・整理整頓→人のために尽くすことについては、清掃はよくできていますが、必要のない話声が聞こえたりする場面があります。整理整頓については、廊下や教室を見て回っても整理できています。しかし、より細かい点に留意し、清潔で安全な環境整備に心がけていきたいです。③「礼を正す」あいさつ・返事→人と仲良くなることについては、学校内でのあいさつがとても増えました。学校内で何度会っても挨拶をする児童がとても増えてきました。児童に行ったアンケート調査ではどの項目についても肯定的な回答をした児童が80%を越えています。意識の高さと実践力はありますので、さらに高めていきたいと思います。

令和6年度も26日の修了式をもって終わりとなります。保護者の皆様、地域の皆様に支えられ、滞りなく教育活動を進めることができ、水谷博士まつりやドッジボール大会、大縄跳び大会などの新たな取り組みもできました。様々なお願いに対してご理解、ご協力を賜り深く感謝申し上げます。1年間、誠にありがとうございました。